

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（消防に関する施設：第72部消防格納庫詰所）整備事業						
補助事業者名	玖珠町長						
実施場所	玖珠町大字古後						
補助事業の成果の目標	第72部格納庫詰所は、建設後33年経過し、シャッターが開きにくく、外壁に亀裂が入り外壁が剥がれるなど老朽化が著しく、消防団の活動に支障が出ていることから、地域住民の生命・財産・安全を確保するための防災拠点として現在地に改築整備し、消防団活動の円滑な実施に資する。						
補助事業の内容	実施設計一式・本体工事(木造平屋建一式)						
補助事業の始期及び終期	平成27年度～平成28年度						
事業費及び交付金額		27年度	28年度				計
	事業費	円 1,231,200	円 12,891,960	円	円	円	円 14,123,160
	交付金額	1,231,000	12,123,000				13,354,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	成果については、消防格納庫詰所を新築したことにより、「災害時等の防災拠点となり、消防団活動が円滑に実施できるようになった」との意見が寄せられており、地域住民の安全確保に寄与することができた。 また、地元説明会での説明及び格納庫のシャッターに事業名を記載し、周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（消防に関する施設：小型動力ポンプ付積載車）整備事業						
補助事業者名	玖珠町長						
実施場所	玖珠町大字森、綾垣						
補助事業の成果の目標	本町の消防団は全30部で構成され、それぞれの部が格納庫に消防タンク車、消防ポンプ車もしくは、小型動力ポンプ付積載車を保有し管理を行っている。これらの装備については、火災はもちろん荒天時の出動、各種警戒のためのパトロール等に活用され、地域住民の安全安心確保に貢献している。 これらの消防車両は、緊急時により高い性能を求められることから、経年劣化が著しい10年以上経過した車両を随時、更新を図っていくことで消防設備の維持を図り、地域住民の生命、財産、安全を確保する。						
補助事業の内容	小型動力ポンプ積載車 2台 小型動力ポンプ 1台購入						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 10,573,200	円	円	円	円	円 10,573,200
	交付金額	10,573,000					10,573,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	成果については、地元消防団に意見聴取したところ、「小型動力ポンプ付積載車を購入したことにより、消火設備が整ったことから火災時の消防活動を円滑に実施できるようになった」との意見が寄せられており、地域住民の安全確保に寄与することができた。 また、車両に「防衛省 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」の記載を行い周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（消防に関する施設：防火水槽）整備事業						
補助事業者名	玖珠町長						
実施場所	玖珠町大字山下						
補助事業の成果の目標	当地区内には防火用水が無く、現在、火災時には、近くの川からポンプ車や小型ポンプにより中継し送水、消火活動をする必要があり、放水開始までに時間を要する状況である。 当地区内に防火水槽を設置することにより、消火活動を早期に行えるようにし、地域住民の生命、財産、安全を確保する。						
補助事業の内容	耐震性防火水槽(40m ³) 1基 設置						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 8,020,080	円	円	円	円	円 8,020,080
	交付金額	7,907,000					7,907,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	成果については「防火水槽を設置したことにより消火設備が整ったことから、訓練をとおして火災時の消火活動を円滑に実施できるようになったことがわかった」等の意見が寄せられており、地域住民の安全確保に寄与することができた。 周知については、「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」と記載した看板を設置するとともに、地域住民と消防団で防火水槽を使った消火訓練を行い、周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共施設（社会福祉施設：玖珠町人権同和啓発センター改修工事）整備事業						
補助事業者名	玖珠町長						
実施場所	玖珠町大字岩室						
補助事業の成果の目標	<p>当該施設は、昭和52年度に玖珠町立隣保館として落成・開館した。現在は、施設の老朽化、また、昨今の高齢社会の進展に伴い、本施設でも利用者の高齢化が進んでいることなどもあり、施設の改修の必要性が生じている。</p> <p>このため、既存照明のLED化、建具ノブ改修・手摺設置、トイレ改修工事、空調設備の更新を行い、施設利用者の利便性の向上、また、バリアフリー化による誰にでも利用しやすい施設としての環境を整える。</p>						
補助事業の内容	施設改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 8,149,800	円	円	円	円	円 8,149,800
	交付金額	8,149,000					8,149,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>成果については、施設利用者にはアリングを実施し、「トイレが明るく使いやすくなった」、「エアコンの更新や照明のLED化は節電になるのでたいへん良い取り組みだと思う」等の意見が得られ、利便性の向上やバリアフリー化の目標を達成することができた。</p> <p>地域住民への周知としては、「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」による改修工事であることを工事看板に記載し、また、町の広報誌において工事完了の記事を掲載した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（教育文化施設：朝見自治公民館）整備事業						
補助事業者名	玖珠町長						
実施場所	大分県玖珠郡玖珠町大字戸畑4432番地						
補助事業の成果の目標	<p>現朝見自治公民館は、自治区における生活改善及び研修、地区住民の福祉の向上と生涯にわたる学習活動の推進拠点施設として、昭和51年に建築されたものである。</p> <p>現在、建築から40年が経過していることから、老朽化が進んでおり、また、駐車場も利用しづらいなど立地も悪いため、施設の移転新築の必要性が生じている。</p> <p>このため、地元から代替地の寄付を受け、駐車場を備えた平屋の施設を建築し、地区住民にとって利用しやすい公民館の整備を行うものである。</p>						
補助事業の内容	新築工事 一式 木造平屋建て A=81.98m ²						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 25,171,160	円	円	円	円	円 25,171,160
	交付金額	24,664,000					24,664,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>地域住民にヒアリングを行ったところ、自治公民館を新築したことにより「快適に集会行事を実施できるようになった」等の意見が寄せられており、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。</p> <p>地域住民への周知としては、町の広報誌において工事完了の記事を掲載した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：防犯カメラ）整備事業						
補助事業者名	玖珠町長						
実施場所	玖珠町大字山田						
補助事業の成果の目標	<p>玖珠町総合運動公園は町民の競技力向上、健康増進、交流の場として平成26年4月にフルオープンした。約10haの敷地には各種体育施設があり、平成27年度の体育施設利用者は約45,000人に及んでいる。</p> <p>現在、営業時間中の施設内の監視は警備会社に委託しているが、広大な敷地を有しているために十分な監視ができない状況にある。また営業時間外においては無監視状態であるため事件、事故が発生しても分からない状況である。</p> <p>上記のことから、昼夜を問わず施設内を監視できる防犯カメラを公園内の数か所に設置することで、犯罪発生時の証拠データとなることはもとより、犯罪の抑止に寄与することを目的とする。</p>						
補助事業の内容	防犯カメラ7台、レコーダー1台、液晶モニター1台の購入						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 9,304,520	円	円	円	円	円 9,304,520
	交付金額	9,304,000					9,304,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>設置後、モニターにて正常に作動していることを確認し、営業時間外についても監視体制を整えることができた。また利用者からは「設置前より安心して利用できるようになって良かった」等の意見が寄せられており、安全な施設利用及び犯罪抑止に寄与することができた。</p> <p>周知の実施については、工事看板及びカメラ付近に「特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」と記載し周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連公共用施設（環境衛生施設：LED防犯灯）整備事業						
補助事業者名	玖珠町長						
実施場所	玖珠町大字綾垣、太田、山下、古後、森、帆足、岩室						
補助事業の成果の目標	<p>全国において、児童・生徒が事件に巻き込まれる案件が相次ぐほか、町内においても声掛け・付きまとい事件が発生するなど、児童・生徒を犯罪被害から守るための未然防止対策は極めて重要であり、また、夜間の悲惨な高齢者の交通死亡事故も発生している状況で、防犯灯の設置は交通安全対策としても重要な役割を担っている。</p> <p>このことから、各地区内の主要道路等に防犯灯を設置し、地域住民の安心・安全を確保することを目的とする。</p>						
補助事業の内容	LED防犯灯284基設置						
補助事業の始期及び終期	平成27年度～平成28年度まで						
事業費及び交付金額		27年度	28年度				計
	事業費	円 3,504,600	円 5,454,000	円	円	円	円 8,958,600
	交付金額	2,950,000	5,454,000				8,404,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>成果については、住民に意見聴取したところ「LED防犯灯を設置したことにより、歩道などが明るくなり、地域住民より安心して暮らせるようになった」等の意見が寄せられており、地域住民の安全確保に寄与することができた。</p> <p>周知については、工事看板及び町広報並びに玖珠町内全戸に配布する文書に「特定防衛施設周辺整備調整交付金」で実施した旨を記載し周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連特定事業（医療に関する事業：玖珠町子ども医療費助成事業基金）							
補助事業者名	玖珠町長							
実施場所	玖珠町							
補助事業の成果の目標	玖珠町は子育て支援策として、疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、中学生以下の子どもの医療機関受診時、診療報酬の一部負担金の助成制度を創設された。 このため、玖珠町子ども医療費助成事業基金を設置し、保護者負担への助成金に充て、子育て世帯の負担軽減を図り、子育て支援に寄与することを目標とする。							
補助事業の内容	中学生以下の子どもが医療機関を受診した際の一部自己負担額を助成する。							
補助事業の始期及び終期	平成23年度～平成33年度							
事業費及び交付金額		24年度 まで	25年度	26年度	27年度	28年度	計	
	基金 造成 額	交付金額	円 48,919,000	円 75,691,000	円 18,580,000	円 18,580,000	円 15,000,000	円 176,770,000
		市町村費等	1,460,000	1,809,000	0	0	0	3,269,000
		運用益	6,616	12,204	10,068	61,216	31,367	121,471
		計	50,385,616	77,512,204	18,590,068	18,641,216	15,031,367	180,160,471
	基金処分額	14,020,164	18,505,250	19,191,993	19,947,929	20,908,105	92,573,441	
基金残額	36,365,452	95,372,406	94,770,481	93,463,768	87,587,030			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	医療費助成事業により、子育て世帯の負担軽減が図られ、子育て支援に寄与することができている(平成28年度 医療費助成件数 16,137件)。 町HPや広報誌への掲載、制度説明資料や町内の全児童生徒に文書を配布する等、地域住民へ周知を図ることができた。							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連特定事業 (福祉に関する事業：玖珠町子ども子育て支援基金事業基金)						
補助事業者名	玖珠町長						
実施場所	玖珠町						
補助事業の成果の目標	玖珠町は、「認定こども園」に係る子育て支援事業として、保育料のうち、国が定める保育料徴収基準額の一部を助成する制度を創設した。 このため、玖珠町子ども子育て支援基金事業基金を設置し、保護者への助成金へ充て、子育て世帯の負担軽減を図り、子育て支援に寄与することを目標とする。						
補助事業の内容	未就学児の保育料の一部助成						
補助事業の始期及び終期	平成26年度～平成31年度						
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度		計	
	基金 造成 額	交付金額	円 60,264,000	円 48,741,000	円 53,647,000	円	円 162,652,000
		市町村費等	0	0	0		0
		運用益	0	13,463	29,294		42,757
		計	60,264,000	48,754,463	53,676,294		162,694,757
	基金処分額	0	43,037,000	38,182,400		81,219,400	
	基金残額	60,264,000	65,981,463	81,475,357		81,475,357	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	平成28年度の保育料助成対象人数は4,627人となっており、また、利用者アンケートを実施したところ、認定こども園等の保育料の一部を助成することにより、子育て世帯の負担軽減に役立ち、子育て支援に寄与しているとの意見を多数得られ、目標が達成できていることを確認した。 周知については、町HPへの掲載や制度説明資料を配布する等により地域住民へ周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連特定事業（交通に関する事業：町道維持管理事業基金）							
補助事業者名	玖珠町長							
実施場所	玖珠町							
補助事業の成果の目標	玖珠町では、平成28年4月現在、365路線、全長約285kmの町道を維持管理し、破損過小の修繕等への対応に人員・財政上の問題もあり、時間を要する状況でる。 今回、町道維持管理事業基金を設置し、通行支障箇所の発見・早期修繕等の体制を整え、町道維持管理することにより、地域住民の安全の確保、日常生活での利便性向上に寄与することを目的とする。							
補助事業の内容	玖珠町が管理する町道に維持管理を行うもの。草刈工・支障木伐採工・側溝清掃工・側溝補修工・路面清掃工・落石・崩土除去工・安全施設補修工・雪氷対策工・異常気象対応・舗装欠損部応急処理工等を業務委託するものである。							
補助事業の始期及び終期	平成27年度～平成36年度							
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度	年度		計	
	基金造成額	交付金額	円 8,000,000	円 8,176,000	円 16,000,000	円	円	円 32,176,000
		市町村費等	0	0	0			0
		運用益	0	1,922	2,356			4,278
		計	8,000,000	8,177,922	16,002,356			32,180,278
	基金処分量	0	6,347,160	9,338,760			15,685,920	
	基金残額	8,000,000	9,830,762	16,494,358			16,494,358	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>道路パトロール及び地域住民からの情報提供により、従前よりも車両等の通行支障箇所の早期解消ができた。</p> <p>平成28年度の路面補修業務は、22枚の指示書を発行し、年間を通じポットホール補修201箇所・陥没補修15箇所・路面補修10箇所を実施した。</p> <p>また、道路維持補修業務では、9枚の指示書を発行し、道路側溝清掃・道路法面除草・路面清掃等の作業を実施し通行に支障している箇所の補修ができた。</p> <p>さらに、当年度は積雪が3回あり、その都度、山間部の車両通行に支障のあった延べ11路線の除雪作業をおこなった。</p> <p>地域住民からも「早期の対応で助かる」との感謝を受け、事業の効果を確認した。周知については町HPや作業注意喚起看板等に調整交付金事業である旨を記載し、地域住民へ周知を図った。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分量及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業： 玖珠町学力向上推進事業基金）					
補助事業者名	玖珠町長					
実施場所	玖珠町町立学校14校					
補助事業の成果の目標	玖珠町において、児童・生徒の学習習熟度に差が生じないよう、個々に応じた指導体制の充実や学習環境の向上を図り、きめ細やかな指導を推進する。そのため、玖珠町学力向上推進事業基金を設置し、町独自の確認テストの実施・分析・対策を担当する学力向上支援員や、小学校における教科担任制の積極的導入及び中学校での少人数教室等による個別指導を行う専科教員、支援を必要とする子どもへの対応を担当する特別支援教育支援員を配置することにより、児童・生徒の学力向上を目指す。					
補助事業の内容	学力向上支援員 専科教員 特別支援教育支援員の配置					
補助事業の始期及び終期	平成27年度～平成37年度					
事業費及び交付金額			27年度	28年度		計
	基金 造成 額	交付金額	円	円	円	円
		市町村費等	55,706,000	44,411,000		100,117,000
		運用益	0	0		0
		計	0	18,695		18,695
	基金処分額	55,706,000	44,429,695		100,135,695	
基金残額	0	34,724,000		34,724,000		
	55,706,000	65,411,695		65,411,695		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	町独自テスト、県及び全国学力テストの分析をおこない、苦手な箇所の補充学習等を町全体で実施した。また、特別支援教育支援員の配置校長へヒアリングを実施した結果、「いずれの学校も、授業時間の確保、基礎学力の向上に寄与できた」との意見を得られ 目標の達成に資することができた。 本事業が、防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を広報誌及びホームページに記載し本事業にかかる地域住民への周知を図った。					
事業の改善措置及び今後の対応	無					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連特定事業（福祉に関する事業：玖珠町健康ウォーク推進事業基金）					
補助事業者名	玖珠町長					
実施場所	玖珠町内					
補助事業の成果の目標	町民一人ひとりに生活習慣病予防、健康管理の推進の重要性を認識させ、「健康意識の啓蒙」及び「運動の動機づけ」のため健康ウォーク推進事業を実施し、町民の運動習慣の定着化、健康の保持増進を図る。 ・運動習慣がついた人の割合 (H27目標)60% (H29目標)70% ・測定記録の改善が図れた人の割合 (H27目標)50% (H29目標)60%					
補助事業の内容	講師による講演、看護師による問診など健康づくりに関する定期的なイベントを開催する。					
補助事業の始期及び終期	平成26年度～平成29年度					
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度	計	
	基金造成額	交付金額	円 38,442,000	円 17,700,000	円 0	円 56,142,000
		市町村費等	0	0	0	0
		運用益	0	12,938	13,047	25,985
		計	38,442,000	17,712,938	13,047	56,167,985
	基金処分別	0	17,278,866	20,947,000	38,225,866	
基金残額	38,442,000	38,876,072	17,942,119	17,942,119		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	講習会時に実施するアンケート及び体組成計の測定結果により、次の結果の確認ができたことで、本事業による町民の健康意識の啓蒙及び運動の動機づけの推進が図ることができたと確認した。 ・運動習慣のついた人の割合 91.2% ・測定記録の改善が図れた人の割合 72.6% その他、町HPやチラシ、ポスターなどで地域住民へ事業周知を行った。					
事業の改善措置及び今後の対応	平成28年度における事業の成果については目標値を上回っているが、事業の途中で対象者が少ない。今後は対象者が増えるので今の成果を維持できるよう定期的な講習会に加え、自治区や事業所で講習会を開く。また、活動量計の使用状況により訪問するなど参加者の支援を図る。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分別及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	日出生台演習場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：玖珠町わらべの館図書館運営基金事業）							
補助事業者名	玖珠町長							
実施場所	玖珠町 わらべの館							
補助事業の成果の目標	図書システムの刷新や図書業務従事者の雇用、移動図書館の運行等を通じて、町民に良質な読書を提供する環境を整備し、児童の健全な育成や大人の教養の向上を図り、社会教育の振興に資することを目的とする。							
補助事業の内容	図書管理システムの導入及び保守、図書業務従事者の雇用、移動図書館車の運行							
補助事業の始期及び終期	平成28年3月から平成34年3月まで							
事業費及び交付金額		27年度	28年度				計	
	基金造成額	交付金額	円 35,700,000	円 0	円	円	円	円 35,700,000
		市町村費等	0	0				0
		運用益	0	11,981				11,981
		計	35,700,000	11,981				35,711,981
	基金処分量	0	12,000,000				12,000,000	
	基金残額	35,700,000	23,711,981				23,711,981	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>平成28年度は図書システムの刷新や図書業務従事者、移動図書館の運行等を通じて、町民に良質な読書を提供する環境を整備することができた。登録者人数、図書貸出冊数、利用者人数については、図書システムが平成29年3月に導入したため、今後1年間の利用状況をみて評価することとしたい。</p> <p>特定防衛施設周辺整備調整交付金による基金により事業が運営されていることを次に記載し町民に周知している。</p> <p>・広報「くす」、町のホームページ、チラシ、ポスター</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分量及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。